

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

| 題材名 | 時間数 | 学習にめあて | 観点別評価規準 |
|---------------------|-----|------------------------|--|
| 春を見つけて | 2 | 知 形や色を工夫しよう。 | 知 絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 表したい感じになるように、形や色、描き方を工夫して表している。 |
| | | 思 季節を感じて表したいことを考えよう。 | 思 季節を感じて表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 描くことをたのしもう。 | 主 植物を絵に表すことに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。 |
| ゆらゆらくん | 2 | 知 紙の使い方を工夫しよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、互いの作品の形や色のよさや違いに気づいている。 紙粘土がもつ特性を生かしたり、形や色を工夫して表している。 |
| | | 思 つくりたい紙コップ人形を考えよう。 | 思 粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。 |
| | | 学 ゆらゆらくんをつくることをたのしもう。 | 主 粘土に積極的に働きかけ、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。 |
| おいしいアイスやさん | 2 | 知 形や色を工夫しよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、互いの作品の形や色のよさや違いに気づいている。 クレヨンや絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。 |
| | | 思 どんなアイスにするか考えよう。 | 思 どんなアイスにするかを思いつき、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 指を使ってアイスを描くことをたのしもう。 | 主 指を使ってアイスを描くことをたのしもうとしている。 |
| ギュッとしたいわたしの お友だち | 2 | 知 形や色を工夫しよう。 | 知 自分や友達作品の触り心地のよさやおもしろさなどに気づいている。 紙の大きさや触り心地など材料の特徴から、思いついた「お友だち」の形や色を工夫する。 |
| | | 思 もんだ紙から「お友だち」考えよう。 | 思 もんだ紙の感触を味わいながら、自分の表したい「お友だち」を考えたり、思いついたりしている。 |
| | | 学 お友だちを作ることをたのしもう。 | 主 もんだ紙から「お友だち」を作る活動に関心をもち、たのしく取り組もうとしている。 |
| くるくるカタツムリ | 2 | 知 描き方や塗り方を工夫しよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、互いの作品の形や色のよさや違いに気づいている。 クレヨンや絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。 |
| | | 思 カタツムリのいる場所を考えよう。 | 思 「カタツムリ」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 カタツムリを描くことをたのしもう。 | 主 「カタツムリ」という言葉から自由に想像を広げ、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。 |
| デコレーションケーキ | 4 | 知 形や色を工夫しよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、互いの作品の形や色のよさや違いに気づいている。 カラーペンや絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。 |
| | | 思 ケーキのテーマを考えよう。 | 思 ケーキのテーマを思いつき、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 切り絵でケーキを作ることをたのしもう。 | 主 ケーキのテーマから自由に想像を広げ、たのしく切り絵でケーキを作る活動に取り組もうとしている。 |

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

| 題材名 | 時間数 | 学習にめあて | 観点別評価規準 |
|--------------|-----|---------------------------|---|
| ゆめのおべんとう | 4 | 知 紙粘土やお花紙を材料に、形や色を工夫しよう。 | 知 おべんとうをつくることを通して、形や色の感じがわかっている。 紙粘土やお花紙を材料に、形や色を工夫している。 |
| | | 思 自分が食べたいものやつくりたいものを考えよう。 | 思 自分が食べたいものやつくりたいものを考えている。 |
| | | 学 ゆめのおべんとうをつくることをたのしもう。 | 主 思いついたものを紙粘土やお花紙などでつくることをたのしもうとしている。 |
| おすしパーティー | 4 | 知 紙粘土に絵の具を混ぜて、形や色を工夫しよう。 | 知 粘土に働きかけることを通して、触った感じや形の変化に気づいている。 色の混ぜ方や形を工夫して表している。 |
| | | 思 いろいろなおすしを考えよう。 | 思 いろいろなおすしを思いつき、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 触り心地をたのしもう。 | 主 磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。 |
| こんなおしろにすみたいな | 4 | 知 紙粘土に絵の具を混ぜて、形や色を工夫しよう。 | 知 手で粘土の塊へ働きかけることを通じて、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。 材料がもつ特性を生かしたり、形や色を工夫して表している。 |
| | | 思 自分が住みたいおしろを考えよう。 | 思 自分が住みたいおしろを思いつき、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 つくることをたのしもう。 | 主 お城や飾りをつけることに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。 |
| ふしぎなたまご | 2 | 知 形や色を工夫しよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、互いの作品の形や色のよさや違いに気づいている。 クレヨンやカラーペン、共同絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。 |
| | | 思 ふしぎなたまごから生まれてくるものを考えよう。 | 思 「ふしぎなたまご」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 粘土でつくることをたのしもう。 | 主 「ふしぎなたまご」という言葉から自由に想像を広げ、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。 |
| いっぱいうつして | 2 | 知 繰り返しや重なりなど写し方を工夫しよう。 | 知 色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの色や形の面白さに気づいている。 いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。 |
| | | 思 写し方を試しながら、表したいことを考えよう。 | 思 つくった色水の色や、容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。 |
| | | 学 型紙版画で写すことをたのしもう。 | 主 色水をつくったり、並べたりすることに関心を持ち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。 |
| 紙の大工さん | 2 | 知 模様のつくり方を工夫しよう。 | 知 いろいろな描画材料を使って模様を表すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや違いに気づいている。 泡の形を写したり、折り染めをしたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。 |
| | | 思 いろいろな模様を試したり見つけたりしよう。 | 思 それぞれの技法の特徴をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 模様をつくることをたのしもう。 | 主 模様のいろいろな表し方に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。 |

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準

| 題材名 | 時間数 | 学習にめあて | 観点別評価規準 |
|----------|-----|--------------------------|---|
| まどをあけたら | 4 | 知 カッターナイフの使い方に慣れよう。 | 知 互いの作品を見合うことを通して、窓の形や窓から見える風景の面白さに気づいている。 カッターナイフの扱いに慣れ、表したいことをもとに窓の形や窓から見える風景の描き方などを工夫して表している。 |
| | | 思 窓の形や、窓から見える風景を考えよう。 | 思 「まどをあけたら」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 |
| | | 学 紙を切るたのしさを味わおう。 | 主 カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組みようとしている。 |
| メッセージカード | 4 | 知 飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 | 知 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。 |
| | | 思 贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 | 思 贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すかを考えている。 |
| | | 学 カードで気持ちを伝えることをたのしもう。 | 主 つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。 |